

新たな農業形態のモデルを目指して (株式会社C i t r u s)

<法人の概要>

所在地：和歌山県有田郡有田川町

設 立：平成24年4月2日

資本金：300万円 売上高：730万円（平成24年）

構成員（議決権）：農業従事者5名（86.7%）、（株）サンライズみかんの会（13.3%）

役 員：6名（うち農作業従事6名）

従業員数：常時雇用者2名、臨時雇用者12名

経営面積：3.5ha（うち所有0ha、借入3.5ha）、収穫作業受託20a

作付作物：みかん（3.5ha）



設立当初の新聞報道



有田みかん産地の代表的な傾斜地樹園地群

<営農を開始するまでの状況>

当該法人の代表は、農業改良普及員や農業大学校の校長を歴任し、退職後に和歌山県内のみかん産地で新たな農業形態のモデルを作る目的で農業生産法人を設立している。

設立に当たっては、後にモデルとして経過を公開できるように司法書士、税理士、労務管理士等の専門家の支援を得て設立が行われている。

また、樹園地の確保は、代表が保有していたところと肥料販売店から紹介により確保できたとのことである。

ただし、樹園地の貸借では、附帯設備の老朽化に係る施設の修理費や樹木の状況など借受け条件にさまざまな課題があり、園主と借受者の間で樹園地の管理方法等十分に話し合いを行って契約を交わすことが必要であるとのこと。

なお、機械は代表の個人のものを使用し、法人としては冷蔵庫、加工施設、草刈機、電動噴霧器のみ購入している。

<特徴的な取組>

生産物の販売は、法人の株主である株式会社サンライズみかんの会を通じて地元スーパーのオークワPBブランドや大手通販会社の進物販売で行っており、流通面の体制が整っている。

収穫時の労働力確保には、ハローワークに求人広告も行うが、なかなか人手が集まらない状況にある中で、和歌山県が主催するホームページに設置されているグリーンサポートを活用し収穫作業者を募集・確保している。

当該法人が古民家を借受けて住み込みで15人程度、2ヶ月間雇用している。

また、当該法人と中核農家7戸と連携して、アルバイトのメンバーが自由にグループ内の農家を渡り歩けるシステムを作り、農家は必要なときに必要な人員を確保できるようにした。

なお、未経験者については、当該法人で数日間収穫の訓練を行い作業に出て貰っている。

<今後の農業経営の展開方向>

樹園地の拡大については、条件しだいではあるが5ha程度まで拡大を行っていきたいと考えている。

当該法人は、株主のサンライズみかんの会と連携しており、当該会社の生産部門を担う大口生産者であり、収穫量を増やすことに取り組んで行く。

なお、六次産業化の総合計画が認定され、食品乾燥機を導入しており、今後はいろいろな商品づくりにチャレンジしようと考えている。

<今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス>

生産物はいい物を栽培し、生産費は押さえ、流通を確保し、人材を育成することが重要である。



みかんの収穫に集まった若者達



収穫をする2名の正社員とアルバイト